

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2004-24798(P2004-24798A)

【公開日】平成16年1月29日(2004.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2004-004

【出願番号】特願2002-218906(P2002-218906)

【国際特許分類第7版】

A 6 2 C 5/00

【F I】

A 6 2 C 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月6日(2005.5.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

消火液を冷やして温度を下げることにより、燃焼を抑えて、消火を助ける。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、燃焼に必要な要素の、燃える物、燃やす物、燃えるのに十分な温度のうち、消火液を冷やすことにより、燃焼場所の温度を下げることで、燃焼や、延焼等を抑えて、消火を助ける技術に関するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

【従来技術】従来技術としては、普通の水を放水する。泡を噴射する。消火剤を撒く等の方法が存在する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、消火剤を冷却して使用することにより、燃焼の条件である燃える物、燃やす物、燃えるのに十分な温度のうち。空気と温度と燃焼物の温度を下げることにより、消火を助ける。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【発明の実施形態】以下、本発明の実施の形態について説明する。消防車が汲み上げた消火剤を冷却タンクに通すことにより、冷やし、これを放出することで、温度を下げて燃焼を抑える。